

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	山梨県立大学
設置者名	公立大学法人山梨県立大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難	
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計			
国際政策	総合政策	夜・通信	48	13	14	75	13		
	国際コミュニケーション	夜・通信			8	69	13		
人間福祉	福祉コミュニティ	夜・通信		3		31	82	13	
	人間形成	夜・通信				37	88	13	
看護	看護	夜・通信				67	115	13	
(備考)									

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

山梨県立大学ホームページで公表 https://www.yamanashi-ken.ac.jp/media/jitumukakyouinjugyou.pdf
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	山梨県立大学
設置者名	公立大学法人山梨県立大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

山梨県立大学ホームページ「役員等紹介」で公表 https://www.yamanashi-ken.ac.jp/info/info/director/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	山梨県庁子育て支援局	2024. 4. 1～ 2025. 3. 31	労務管理、ガバナンス改革、組織再編
常勤		2024. 4. 1～ 2025. 3. 31	中期計画、監査、認証評価、アライアンス、助産専攻科
非常勤		2024. 4. 1～ 2025. 3. 31	社会連携、補助金事業
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	山梨県立大学
設置者名	公立大学法人山梨県立大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 例年 1 月末に、授業担当教員に、授業の方法及び内容、授業計画、到達目標、成績評価の方法や基準、その他の事項を記載するよう「シラバス作成要領」を添えて作成を依頼している。 各授業担当教員が作成後、4 月上旬にホームページに公開している。</p>	
授業計画書の公表方法	山梨県立大学ホームページで公表 https://aaa-web.yamanashi-ken.ac.jp/aa_web/syllabus
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 単位授与については、教員が授業計画書に明示した評価方法に沿って、科目の特性や到達目標などを踏まえて、厳格かつ適正に評価したうえで行っている。最終的に学部教授会にて審議し、卒業認定を行っている。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績は、客観的な指標として、GPA による評価を行っている。 GPA 対象科目について、「学期 GPA」と「通算 GPA」に区分して計算を行う(計算値は小数点以下第 2 位を四捨五入して表記)。学期 GPA は、当該学期の学修状況・成果を示す指標であり、利用方法は基本的に、次学期へ向けての修学指導に限定される。一方、通算 GPA は、在学中の全期間の学修状況・成果を示す指標であり、さまざまな判定の資料として利用される。両者とも分母は D 評価となった科目の単位数を含む。 (1) 学期 GPA の算出式: 学期 GPA=当該学期に履修登録した各科目の(GP×単位数)の合計 /当該学期の成績評価を受けた全科目の単位数合計 (2) 通算 GPA の算出式: 通算 GPA=入学時から履修登録した各科目の(GP×単位数)の合計 /入学時から成績評価を受けた全科目の単位数合計</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	オリエンテーションの Googleclassroom で公表 https://classroom.google.com/w/NjU5NjExMDgwMzg0/t/all

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>「山梨県立大学学則第 30 条」及び「山梨県立大学卒業認定に関する規程」に基づき、修業期間である 4 年以上の在籍、山梨県立大学履修・単位認定に関する規程別表に定める卒業に必要な修得単位を確認し、卒業に関する認定を行っている。また学部ごとにディプロマポリシーを設定し大学ホームページにて公開している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>大学ホームページで公表 https://www.yamanashi-ken.ac.jp/info/info/3policies/ https://www.yamanashi-ken.ac.jp/media/2214_sotsugyo.pdf</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	山梨県立大学
設置者名	公立大学法人山梨県立大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	山梨県立大学ホームページ https://www.yamanashi-ken.ac.jp/info/corporation/finance/
収支計算書又は損益計算書	山梨県立大学ホームページ https://www.yamanashi-ken.ac.jp/info/corporation/finance/
財産目録	該当なし
事業報告書	山梨県立大学ホームページ https://www.yamanashi-ken.ac.jp/media/R4jigyohoukoku.pdf
監事による監査報告(書)	山梨県立大学ホームページ https://www.yamanashi-ken.ac.jp/info/plan/year/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:令和6年度・年度計画 対象年度:令和6年度)
公表方法:山梨県立大学ホームページ https://www.yamanashi-ken.ac.jp/media/r6_nendokeikaku.pdf
中長期計画(名称:第3期中期計画 対象年度:令和4年~令和10年)
公表方法:山梨県立大学ホームページ https://www.yamanashi-ken.ac.jp/media/r6_nendokeikaku.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:山梨県立大学ホームページ https://www.yamanashi-ken.ac.jp/info/plan/self_check/
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:山梨県立大学ホームページ https://www.yamanashi-ken.ac.jp/info/plan/attestation/
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 国際政策学部
教育研究上の目的（公表方法：山梨県立大学ホームページ） https://www.yamanashi-ken.ac.jp/glocal/admpolicy/
（概要） グローバルな視点に立って地域社会の問題を考え、地域の自然、文化、産業を豊かにして地域の活力をつくる人材、アジアをはじめとする世界各国と地域社会をつなぎ、平和で豊かな国際社会の形成に貢献できる人材を育成する。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：山梨県立大学ホームページ） https://www.yamanashi-ken.ac.jp/glocal/admpolicy/
（概要） 本学部の目的・理念及び教育目標に基づき、学生の学修成果が到達目標に達したと認められる者に、学士（国際政策学）の学位を授与する。 1. 全学に共通な学修成果である「学士基盤力」を身につけている。 2. 各コース共通の国際政策教養力、能動的実践力、外国語活用能力、専門的問題解決能力を身につけている。 ・人文・社会科学分野を国際的視野に立って幅広く理解できる。また、問題解決能力の育成に必要な汎用的技術を修得できる。（国際政策教養力） ・総合的な学修、並びに学生自らの問題意識に応じた学修を、学修の進度に応じて深め、活用する力を修得できる。（能動的実践力） ・英語については、コミュニケーション能力と活用能力を身につけることができる。中国語については、中国を中心としたアジア地域理解のために必要な中国語能力を身につけることができる。（外国語活用能力） ・卒業研究として、学修成果を総合させ、課題を解決することができ、その成果を論文としてまとめることができる。（専門的問題解決能力） 3. 各コース分野における「学士専門力」を身につけている。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：山梨県立大学ホームページ） https://www.yamanashi-ken.ac.jp/glocal/admpolicy/
（概要） 【総合性に関する方針】 「行動する国際人」の育成を行うため、地域マネジメントコース、創発デザインコース、国際関係・観光メディアコース、国際コミュニケーションコースの4コースを設置し、それぞれのコース目的に即した科目を配置する。 【順次制に関する方針】 学年進行に合わせて、基礎力から展開力を育成する科目を順次履修できるように配慮する。 【実施に関する方針】 実践知を探究しつつ行動する国際人を育成するため、体系的な知識を身につける学修をするとともに、学外での活動や少人数で能動的に学修することを重視する。そのため、少人数演習・能動的学修が各学年で実現できるようにする。

<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：山梨県立大学ホームページ） https://www.yamanashi-ken.ac.jp/glocal/admpolicy/</p>
<p>（概要） 国際政策学部は、ローカルならびにグローバルな視点を携え、みずからの問題意識を社会との関係において育み、問題の発見や提起を含めた一連の問題解決に挑もうとする人間を求めています。そのため、以下の3点で入学前能力を評価します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 【知識】知識をその文脈を含めて理解し、知識同士を関係づけている。 2. 【思考】みずからの知識に基づき、またそれを捉え直しながら、新たな事柄を推論し、その過程を表現している。 3. 【実践】多様性を尊重しながら他者と対話し、創造的な問題解決に主体的に挑もうとしている。 4. 入学前能力をさらに伸ばし教育目標に定められた資質能力を身に付けることができること。

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

<p>学部等名 人間福祉学部</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：山梨県立大学ホームページ） https://www.yamanashi-ken.ac.jp/welfare/admpolicy/</p>
<p>（概要） 高度な専門知識と技術、深い共感的理解、問題解決への知的探求心、協働できる力を持ち、乳幼児から高齢者まで誰もが人間らしく、その人らしさを発揮して生活できる地域社会づくりに主体的かつ実践的に貢献できる人材を育成します。</p>
<p>卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：山梨県立大学ホームページ） https://www.yamanashi-ken.ac.jp/welfare/admpolicy/</p>
<p>（概要） 人間福祉学部は、以下のような知識や能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定し、学士（人間福祉学）の学位を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語や情報リテラシーなど将来にわたる学びの基礎となる知識・技能、および人間と文化・社会・自然などについての幅広い教養を身につけている。 ・専門分野（社会福祉・子どもの教育・保育）に関する理論的・実践的な知識・技術を身につけている。 ・人間に対する深い共感的理解と、誰もが人間らしく、またその人らしく生活できる社会づくりに貢献しようという意欲をもっている。 ・社会福祉や子育てに関わる地域社会の諸課題を発見し、その解決に向けて多角的な視点から考え、実践する力を身につけている。 ・すぐれたコミュニケーション能力と、多様な他者と協働する力を身につけている。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：山梨県立大学ホームページ） https://www.yamanashi-ken.ac.jp/welfare/admpolicy/</p>
<p>（概要） 人間福祉学部はディプロマ・ポリシーに基づいて以下の目標が達成できるよう、カリキュラムを編成している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語や情報リテラシーなど将来にわたる学びの基礎となる知識・技能、および人間と文化・社会・自然などについての幅広い教養の修得 ・専門分野（社会福祉・子どもの教育・保育）に関する理論的・実践的な知識・技術の修得 ・人間に対する深い共感的理解と、誰もが人間らしくまたその人らしく生活できる社会づくりに貢献できる力の修得 ・社会福祉や子育てに関わる地域社会の諸課題を発見し、その解決に向けて多角的な視点

<p>から考え、実践する力の修得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すぐれたコミュニケーション能力と、多様な他者と協働する力の修得
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：山梨県立大学ホームページ） https://www.yamanashi-ken.ac.jp/welfare/admpolicy/</p>
<p>（概要）</p> <p>人間福祉学部は、大学での学修の前提となる基礎的学力と、人への共感性・コミュニケーション力を備え、福祉社会の発展への貢献や子どもの発達と幸福の支援等、社会貢献への意欲と関心を持った学生を選抜することを基本とします。これにもとづき、各学科で以下のような学生を受け入れる。</p> <p>福祉コミュニティ学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学での学修の基礎的学力を前提として、社会福祉、介護福祉、精神保健福祉等の福祉の専門分野の学修に関心と意欲が強い人 ・社会の向上、人類の福祉の発展に貢献することに関心のある人 ・様々な困難を抱えた人々への共感性のある人 ・基礎的なコミュニケーション能力、協調性のある人 <p>人間形成学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学での学修の基礎的学力を前提として、子どもの教育・保育、子ども福祉、家庭支援の学修に関心が高い人 ・社会の向上、子どもの発達と幸福に貢献する意欲のある人 ・子どもや育児不安に悩む対象者への共感性のある人 ・基礎的なコミュニケーション能力、協調性のある人

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

<p>学部等名 看護学部</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：山梨県立大学ホームページ） https://www.yamanashi-ken.ac.jp/nursing/admpolicy/</p>
<p>（概要）</p> <p>人間や社会を看護学的に探究する能力、倫理的な判断力と科学的な思考力、専門職業人としての豊かな人間性を兼ね備え、優れた看護実践により地域に貢献できる人材を育成する。</p>
<p>卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：山梨県立大学ホームページ） https://www.yamanashi-ken.ac.jp/nursing/admpolicy/</p>
<p>（概要）</p> <p>看護学部は、以下のような能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定し、学士（看護学）の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然や地域・社会への関心を持ち、幅広い教養を身につけている。 2. 豊かな人間性を備え、自律した自己学修力を身につけている。 3. 人間や社会、及び健康について看護学の視点から探究する能力を身につけている。 4. 自己理解や他者理解に努め、看護の対象となる人々と援助関係を形成する能力を身につけている。 5. 根拠に基づいて看護実践するための科学的思考力及び倫理的判断力を身につけている。 6. 人々の健康課題を解決する看護実践に必要な専門的知識・技術・態度を身につけている。 7. 保健・医療・福祉などのチームの一員として、人々と連携し協働する能力を身につけている。 8. 社会の動向に関心を持ち、創造力や発信力をもって看護を取り巻く状況への変革を志向する能力を身につけている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：山梨県立大学ホームページ）
<https://www.yamanashi-ken.ac.jp/nursing/admpolicy/>

（概要）

看護学部の教育理念・目的に沿って、地域に貢献できる人材を育成することを念頭に3つ（看護師、保健師、養護教諭一種免許状）の教育課程を設置している。

学部の教育目標を具現化する教育内容は、以下の4領域からなるカリキュラム構造の中に授業科目として配置され、教養教育と学部専門教育が相互に関連しながら4年次まで積み上がり統合できるよう配置されている。

1. 人間存在領域(Personal Area):看護の基本概念である人間や社会、及び健康に関連した知を探究する領域。
2. 実践領域(Art Area):看護実践の基盤となる理論や看護実践の向上に関連した知を探究する領域。
3. 研究領域(Research Area):看護の現象や看護実践の根拠に関連した知を探究する領域。
4. 哲学・倫理領域(Philosophical and Ethical Area):看護を取り巻く倫理的な課題や規範に関連した知を探究する領域。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：山梨県立大学ホームページ）

<https://www.yamanashi-ken.ac.jp/nursing/admpolicy/>

（概要）

看護学部は、地域に貢献できる優れた専門職業人の育成を目指している。このために、人間や社会を看護学の視点から探究する能力や看護の対象への『科学的知』と『哲学・倫理的知』をもって看護実践に必要な専門的能力を啓発するとともに、専門職業人としての豊かな人間性を持った人材を育成します。

したがって、高等学校卒業までの学習や生活体験を通じて人間や社会への関心を持ち、客観的・論理的思考ができ、また自己や他者を尊重できる態度が身についている人の入学を希望する。

看護学部看護学科では、これらの考えに基づき、次のような人を受け入れる。

1. 人間や社会に強い関心がある人
2. 人を尊重し、よりよい人間関係を築こうとする人
3. 客観的・論理的思考ができ、自分の考えや感じたことをわかりやすく表現できる人
4. 主体的な学習態度と基礎学力が身についている人
5. 看護に強い関心がある人
6. 卒業後、山梨県内の保健・医療・福祉分野に就業する強い意志を有する人（学校推薦型選抜及び特別選抜(社会人選抜)）

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.yamanashi-ken.ac.jp/info/education/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
国際政策学部	—	11人	12人	2人	1人	3人	29人
人間福祉学部	—	9人	10人	5人	0人	0人	24人
看護学部	—	14人	13人	6人	8人	2人	43人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
2人		0人					2人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：山梨県立大学ホームページ https://www.yamanashi-ken.ac.jp/info/teachers_list/					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
国際政策学部	80人	81人	101.3%	340人	382人	112.4%	10人	5人
人間福祉学部	80人	86人	107.5%	340人	340人	100%	10人	0人
看護学部	100人	102人	102.0%	400人	413人	103.3%	0人	0人
合計	260人	269人	103.5%	1080人	1135人	105.0%	20人	5人
(備考)								

b. 卒業生数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
国際政策学部	68人 (100%)	3人 (4.4%)	62人 (91.2%)	3人 (4.4%)
人間福祉学部	83人 (100%)	2人 (2.4%)	78人 (94.0%)	3人 (3.6%)
看護学部	95人 (100%)	3人 (3.2%)	91人 (95.8%)	1人 (1.0%)
合計	246人 (100%)	8人 (3.3%)	231人 (93.9%)	7人 (2.8%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
大学ホームページ 就職・キャリア https://www.yamanashi-ken.ac.jp/career/afterwards/				

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
例年1月末に、授業担当教員に、授業の方法及び内容、授業計画、到達目標、成績評価の方法や基準、その他の事項を記載するよう「シラバス作成要領」を添えて作成を依頼している。各授業担当教員が作成後、4月上旬にホームページに公開している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
教員が授業計画書に明示した評価方法に沿って、科目の特性や到達目標などを踏まえて、厳格かつ適正に評価したうえで単位を授与している。最終的に学部教授会にて審議し、卒業認定を行っている。				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
国際政策学部	総合政策学科	124 単位	有	49 単位
	国際コミュニケーション 学科			
人間福祉学部	福祉コミュニティ学科			
	人間形成学科			
看護学部	看護学科			
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.yamanashi-ken.ac.jp/info/education/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載 事項)
国際政策学部	総合政策学科	535,800 円	282,800 円※1 470,000 円※2	0 円	入学金について ※1 は入学の日 1 年前から引き続 き山梨県に住所 を有する者 ※2 は※1 以外の 者
	国際コミュニケーション学科				
人間福祉学部	福祉コミュニティ学科				
	人間形成学科				
看護学部	看護学科				

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 学科別に少人数制で教員によるきめ細かいサポートを行っている。さらに、学生の関心に沿って専門的な学びを深めるコース制やカリキュラムを実施している。 また学生支援機構奨学金、山梨県看護職員修学資金、山梨県介護福祉職員修学資金等の各種奨学金、授業料減免・入学金減免制度について説明会を実施し利用の機会を提供している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) キャリアサポートセンターにおいて、学生の多様なニーズに応えるための「キャリア形成支援」、「就職支援」などについてキャリアコンサルタント等がきめ細かい相談や助言等、様々な方法で学生の進路選択の支援を行っている。また、国際政策学部の入学前教育では、大学生活や卒業後のキャリアパスの設計を手助けするためのキャリアデザインのワークショップを取り入れている。さらに、全学部共通で1年次からのインターンシップ等の就職を見据えた履修科目の開設、全学年の学生を対象とする就職活動ガイダンス、公務員や国家試験対策講座等を実施している。 また、令和2年度からVUCA時代の成長戦略を支える実践的教育プログラム「PENTAS YAMANASHI」を開講し、将来のキャリアデザインを多面的視点で描くためのプログラムを提供している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 学生相談窓口として学務課(飯田キャンパス)・池田事務室(池田キャンパス)があり、修学及び日常生活上の諸問題に対して様々な相談や助言を行っている。また人権委員会を設置し、大学ホームページに相談窓口の掲示やハラスメント相談フォームから相談ができる仕組みとなっている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： https://www.yamanashi-ken.ac.jp/education/
備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。